

広報 **たかのす**

柿
みのり
冬
近し



'93 **12/1**

えぞりんどう (りんどう科)



▲ 花9～10月。明るい草原に生える多年草。北海道や当地方に普通に見られる。

えぞにゅう (せり科)



▲ 花8～9月。えんによ、さくといって、能代山本地方では好んで食べる。

[佐戸岱 阿部達雄さん]

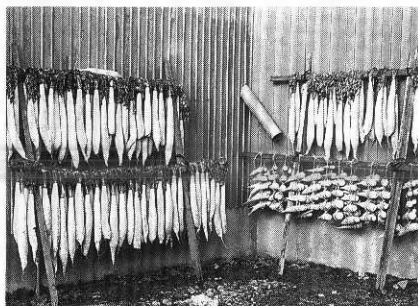
31・金	30・木	29・水	28・火	27・月	26・日	25・土	24・金	23・木	22・水	21・火	20・月	19・日	18・土	17・金	16・木	15・水	14・火	13・月	12・日	11・土	10・金	9・木	8・水	7・火	6・月	5・日	4・土	3・金	2・木	1・水
年越し			官庁仕事納め			(閉庁) クリスマス		天皇誕生日	冬至				(閉庁)			年賀郵便特別扱開始				(閉庁)	人権デー	障害者の日	福祉のまちづくりワーキンググループ全体会	大雪		公民館まつり	(閉庁) 人権週間 (10日)	東小学校落成式		歳末たすけ合い運動・脱スバイクタイヤ運動推進月間



12月
しわす
《師走》

●12月の別称
師走は坊さんも東西に走り回る忙しさ。坊さんは三界の導師、師が走り回るからの意味。

〔表紙のことば〕



早いものでもう12月。赤い柿の実が稔り、軒先などに大根を干す風景が見られる頃になると冬間近、近年は異常気象で暖冬続きと言われるが例年どおりの冬囲いなどは必要です。初雪は昨年より20日以上遅いものの冬本番に備えておきたいものですね。

人口と世帯数	10月31日現在
	住民基本台帳による

総人口 23,422人（1人増）
男 11,260人（3人増）
女 12,162人（2人減）
出生 20人 転入 35人
死亡 17人 転出 37人
世帯数 7,403世帯（7世帯増）

カルチャー＆スポーツ



ファルコン

- 12・5(日) 民謡チャリティーショー 13:00～16:00
入場料: 1,000円（前売）
- 12・10(金) 音楽の冗談コンサート（唄とトーク: 斉藤晴彦、新井純） 18:30～
入場料: 全席自由 一般 1,500円／小・中・高生 800円
- 12・12(日) カワイ音楽教室発表会 9:30～
入場無料
- 12・19(日) ヤマハ クリスマスおたのしみ会 13:30～
入場無料（関係者）
- 12・23(木) 鷹巣混声合唱団クリスマスコンサート
14:00～16:00
入場料: 500円 全席自由

※詳しいことは、ファルコン（62-3311）まで

中央公民館

- 12・5(日) 第11回鷹巣町公民館まつりと生涯学習交流会
9:00～17:30
- 12・11(土)12(日) パッチワーク講座展
※小物のチャリティーバザーも行います

スポーツ

- 12・4(土)～6(月) 県北中学校新人バスケットボール大会
（体育館）
- 12・27(日) 町営薬師山スキー場開き（予定）

※町営薬師山スキー場では現在ナイター設備の工事を行っています。今シーズンから夜間も利用できるスキー場に生まれ変わります。地元のスキー場として、大いにご利用ください。

第二十五回鷹巢町文化祭協賛

文化講演会

『小説取材の裏ばなし』

講師 直木賞作家

西木 正明氏



— プロフィール —

昭和15年 仙北郡西木村生まれ
早稲田大学を卒業後 出版社勤務を経て昭和55年
デビュー作「オホーツク謀報船」で日本ノンフィク
ション新人賞を受賞 昭和63年には「凍れる瞳」
「端島の女」で第99回直木賞を受賞。
著書に「標的」「ルーズベルトの刺客」「逃れざる
者」などがある。

今年で二十五回目を迎えた鷹巢町文化祭の協賛行事として、十一月十五日、たかのす風土館で直木賞作家西木正明氏の文化講演会が行われました。

西木氏は講演の中で、小説にするまでの取材についてユーモアを交えながら語ると同時に、作家という職業の厳しさについてもふれ、立ち席が出るほど満員となった約六百人の聴衆を魅了しました。

以下、西木氏が行った講演の内容についてその要旨をお伝えします。

人類が地球の歴史に登場して十万年、十五万年になりますが、常に進歩し続けています。しかし、有史以来何の進歩もないものがあります。それは人間関係です。これは論理的には説明できない、本能のままの関係だと言っているでしょう。「小説を書く」ということは「人間関係を書く」ということなのです。楽といえば楽かもしれませんが、先人と同じものを書くわけにはいきません。そこで取材の必要性がでてくるのです。才能のある人はひらめきで書けるのかもしれませんが、私の場合は徹底して取材をしなければなりません。また、取材をするつもりでなかったことが結果的に後になって役に立つことがあります。

今日は、私の著書の中のいくつかからそれにまつわる裏ばなしをご紹介します。

忘れていていた取材が

思わぬところで役に立った

私が六、七年前に書いた本に「スネークヘッド」という本があります。「蛇頭」という意味ですがこれは香港に実在するギャング組織の名前です。この本を原作に映画やミュージカルがつくられています。どちらも全く別の題名になっています。この本の取材は私が週刊誌の編集をしていた頃に、全く思いがけずしたものなのですが、この話を書いたきっかけは引き受けた仕事で下書きまでできていたのに日程的に間に合わなかったからなのです。

一九七一年に、香港九龍地区の売春宿で聞いた話がこの本のベースになっています。私にその話をしてくれたのは女性でしたが、彼女いわく「スネークヘッド」のボス



▲ 講演会の後、みちのく子供風土記館で座談会が行われました。

は文化大革命時代の元紅衛兵で生粋の日本人だ」ということでした。

当時は拾ったも同然の話でしたが、十数年経った後でわずか十日間で小説を書き下ろすとき役に立ちました。このようにして書いた本が売れ、一生懸命書いた本が売れないこともあり、おかしいものだと思います。とにかく、私が中国に興味をもったきっかけがこの「スネークヘッド」なのです。

伝説化していた

ダンサーと上海へ

「スネークヘッド」をきっかけにして、私は「ルーズベルトの刺客」という本を書きました。この

本の主人公は実在の女性で、初代水の江滝子です。彼女は現在八十二、三歳になりますが、流転の人生を歩んできた人と言ってもいいでしょう。若い頃は上海でスペイン人の名前でダンサーとして、当時のOSSの幹部や日本軍の幹部とも交流があったようです。

どうして彼女のことを知ったかという、上海の古い時代の話を書きたいと思って資料集めをしていたのがきっかけでした。彼女は古き良き時代の上海を愛している人なのですが、頼まれて七、八年前に上海に連れて行ってあげたことがあります。当時は再現するように、ブロードウェイマンションまで腕を組んで歩き、その地下のバーではジャズをBGMにダンスをしました。自分の母親と同じくらしい年齢の女性を相手に冷汗が流れるくらいたじたじとなった汗い出があります。

作家冥利に尽きる

めぐり逢い

私が現在興味をもっている人物に、「辻まこと」という人がいます。この人の名前はわからなくても、父親が辻潤で母親が伊藤野枝だと言えはわかる人もいるかもしれません。彼の著書は死後十五年

以上経った今も増刷されていて、文章・絵ともとても素晴らしいものです。少し見ても好きになります。彼は希有の自由人、希にみる知識人といわれながら、その幼少時代のかけ離れたものにひかれました。

母親の伊藤野枝は彼が五歳の時に自分と夫を捨て大杉栄のもとへと去ってしまいます。その結果、残された父親の面倒をみながら彼は大きくなるわけですが、母親とはそれ以降会わずその死を知ったのもずっと後になってからのことでした。彼は生涯のうち数多くの女性と関係をもつことになるのですが、どの女性も母親と似た顔立ちだったと言います。きっと彼の心には母親の存在が大きすぎて、無意識のうちに求めてしまったのだと思います。また、彼と父親をつないでいたものは母親だけで、悲しさと寂しさを共有しているという連帯感があったということも言えます。彼のような人物にめぐり逢ったことは作家冥利に尽きるもので、これから書いてみたいと考えています。

最後に

作家の仕事とは、人間を書くこ

とです。小説を書くということとは決して良いものでないし、作家とはその日ぐらしのみつともない職業だと思っています。

世の中には作家を志望している人も多いですが、秋田弁でいえば作家になれば「目にあう」ことになりません。もしなりたいた人は覚悟してなってください。

《 注 釈 》

一、文化大革命

一九六六―六八年に遂行された中国の社会主義革命達成のための思想奪権闘争。しかし七六年、毛沢東の死を契機に事態は一変し紅衛兵狩りが始まり、香港に逃亡した元紅衛兵は少なくないとみられている。

二、OSS

現在のCIA（アメリカ中央情報局）の前身組織。

三、ブロードウェイマンション

上海にあるマンション。戦前は東洋一高い建物だった。

四、辻潤

大正・昭和期の翻訳家・評論家。ダダイズムの巨匠として知られる。

五、伊藤野枝

大正・昭和期の婦人運動家。関東大震災の時、夫大杉栄と共に殺される。



本町の林道「前山滝の沢線」が日頃の林道維持管理の成果が認められ、林道維持コンクール（主催：日本林道協会）において県内では初の農林水産大臣表彰を受けました。

林道「前山滝の沢線」農林水産大臣表彰

町と林道愛護組合の取り組みを評価

町の森林面積は二四、六四七 ha（国有林一、五六五 ha、民有林一三、〇八二 ha）で、総面積の約七六％を占めています。林業は、これまで町の基幹産業としての木材生産をはじめ国土保全、水源かん養などいろいろな機能で私たちの暮らしや地域経済に貢献してきました。また、町では良質な造林資源の確保と健全な森林の育成、付加価値の高い木材生産など林業の振興にいろいろな施策を行ってきました。特に

造林事業や保育事業の推進、生産基盤を向上させるために林道、作業道などの施業道路網の拡張整備と地域林業の活性化策として林業グループの組織化にもつとめてきました。

さて、北海道、宮崎県とともに受賞対象となった林道前山滝の沢線は、当町前山地区と藤里町大沢地区を結ぶ全長約八、四kmに及ぶ峰越連絡道路で、昭和五十八年から昭和六十一年までの事業として整備されました。

その後維持管理は林道愛護



組合（各林道ごとに受益者で組織）と町が協力しながら行い、側溝整備や路肩の草刈り、路面の整正などに年間百万円以上の管理費を計上し、町単独事業で工事などを行ってきました。また日頃のパトロールの成果で、開設後は降雨などによる大きな被害を受けることもなく維持管理に対する取り組みが評価されました。

同路線の利用区域面積は六一〇 haで、区域内には支線として林道・作業道があり、有効的に機能しながら森林施業を支えているほか、隣接の藤里町とを結ぶ生活道路としての役割を担っている重要な路線でもあります。

町は間伐促進と作業道開設に助成します

健全な山林の育成や優良な木材を生産するうえで、間伐は欠かすことのできない大切な作業です。

しかし、間伐が必要なことは分かっているが「人出がなく、林道や作業道もないことから費用をかけても採算が合いそうもない……」そんな理由で間伐をあきらめていませんか？

町では地域ぐるみでの間伐施業に助成して応援します。（1 ha当り70,000円を限度として支給）

▷どのような山林が対象か

立地条件や樹種により違うものの、原則として16年生から35年生までで、面積は小さくても対象になりますが、隣どうしや数人がまとまると作業効率も良く、間伐の経費も割安になります。

また、下刈・除伐・枝打・間伐などの作業に必要な作業道の開設について、もし国や県の補助対象に該当しない場合でも、町が単独で事業費の60％を助成します。（ただし、1路線の延長はおおむね50m以上などの条件によります）

※詳しいことについては、役場農林課 ☎62-1111、鷹巣町森林組合 ☎62-1664 へお問い合わせください。

町 長 日 誌

11/1～15

3日（水）鷹巣町芸術文化奨励賞授与式に出席、山城勇幸さん外10名の業績をたたえ表彰。（ファルコン）

4日（木）大館能代空港建設合同陳情（鷹巣阿仁地区町村長）に参加。（東京：運輸省、大蔵省外）

5日（金）長寿社会文化協会主催「在宅介護フォーラム」に講師として参加。鷹巣町が進める住民参加型による福祉施策について基調講演をした。（埼玉県）

8日（月）第5回鷹巣町議会臨時会に冷害による税の減免関係議案など3件を提案した。

8日（月）向黒沢地区農村公園及び集落排水事業竣工祝賀会に出席、地区の方々とともに竣工を祝う。（向黒沢会館）

9日（火）痴呆、ねたきり防止鷹巣阿仁地区集会に出席、祝辞を述べた。（交流センター）

10日（水）大館能代空港設置許可申請書を運輸省へ提出のため、佐々木知事らとともに上京した。

11日（木）鷹巣町老人福祉大会に出席、36組のダイヤモンド婚（結婚60年）式者を祝福し、「福祉のまちづくりと高齢者に期待するもの」と題し講演した。（交流センター）

12日（金）坊沢地区老人クラブ研修会及び金婚式に出席、講話のあと、3組の金婚（結婚50年）式者を祝福した。（坊沢公民館）

12日（金）社会福祉協議会理事会に出席。（交流センター）

14日（日）鷹巣町婦人団体連絡協議会チャリティー芸能祭に出席、あいさつ。（ファルコン）

14日（日）鷹巣町身障者更生協会40周年記念式典に出席、祝辞を述べた。（公民館）

福祉のまちづくりに

意欲ある人材を募集します

町 職 員（保健婦） 採 用 試 験 案 内

受験希望者は、下記の要領によりお申し込みください

- 採用人員 保 健 婦 ■若 干 名
 - 受験資格▷年齢 昭和43年4月1日以後に生まれた方
▷資格 「保健婦」資格を有している方または
取得見込みの方
 - 試 験 日 平成5年12月19日（日）
 - 試験会場 鷹巣町役場
 - 申込受付 12月10日（金）正午までに役場総務課総務係（2階）
にお申し込みください
 - 住所要件▷鷹巣町に住所（住民登録）のある方を原則とします
▷町外に就職または就労のため鷹巣町から転出した方で、世帯主（両親等）が鷹巣町に住所（住民登録）のある方
▷採用後は、町内に居住できる方
- ※くわしいことは、役場総務課総務係 ☎62-1111へお問い合わせください。

お知らせ

広報
タイムズ

広報チャレンジクイズへご応募ありがとうございました
11月15日号は誌面の都合でお休みしましたが、10月1日号の正解は次のとおりです。

▼問1 11一、九二九人 ▼問2 11町民健康のつどい ▼問3 11愛ちゃんと希望くん

■当選者は次の方々です。
▽佐藤喜美男さん ▼布田チエ子さん ▼戸嶋イサさん
▽五代儀晴子さん ▼武田里美さん

■12月1日号の問題
▼問1 西木正明氏は〇〇と
いう作品で第99回直木賞を受賞
▼問2 林道「前山滝の沢線」

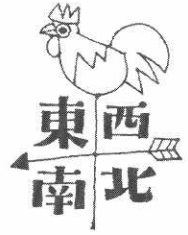
は〇〇町へ通じる峰越連絡道路
▼問3 第11回「鷹巣町公民館まつりと生涯学習交流会」のテーマは？

■応募方法
ハガキに、問題の答えと住所・氏名・年齢・職業・小中高生は学校名と学年を書いて係まで送ってください。

正解者の中から抽選で5名の方にテレホンカードをプレゼントします。

■応募先 018-33鷹巣町花園町19-1 鷹巣町役場広報広聴係
▼締め切り 12月15日（水）

※身近な話題やご意見など皆様からのお便りをお待ちしています。



中村幸雄さんに建設大臣賞

—長年の花だんづくり認められ—

このほど東京の日比谷公会堂を会場に、都市公園制度制定百二十周年記念式典と(社)都市緑化・都市公園整備推進全国大会が行われ、中村幸雄さん(今泉・六十三歳)が栄えある建設大臣賞を受賞しました。

この表彰は緑化運動の推進などに多大な貢献があった方を都市公園保全美化運動功労者として表彰するもので、全国から三十四人が選ばれました。

中村さんは、営林署奉職時代から草花の生育や木に親しみを覚え、自宅で花だんや盆栽づくりに励むうちに東京農業大学園芸化学科を通信教育で卒業するほど勉強を重ねてこられました。

その後、自宅の庭に百坪ほどの花だんをつくり、花づくりに励む一方、十年ほど前からあすの秋田を創る新生活運動協会の推進委員として、また、県花いっばい運動の会の副会長として町内外で花だんづくりの指導にあたるなど環境美化活動を続けてきました。こうした長年の実績が認められての今回の表彰に、中村さんは「このような大変大きな賞をいただけるとは思って



もみなかったこと、これからも楽しみながら花づくりを続けていきたい」と喜びを語っていました。

第1回町老人福祉大会開かれる

—36組のダイヤモンド婚式者も表彰—

老人福祉法施行三十周年・老人保健法施行十周年記念第一回鷹巣町老人福祉大会が十一月十一日、広域交流センターを会場に町内四十三単位老人クラブの会員など四百人余りが参加して行われました。

第一回のこの大会は、町と町老人クラブ連合会が共催で行ったもので、席上岩川徹町長は「『第三の人生(老後)』をいかに豊かなものにするか、そして積極的に迎えるかを考え、さらに地域福祉の認識を深める意味で意義のある大会にしたい」とあいさつしました。

また、畠山喜代治町老人クラブ連合会長からは「健康・友愛・奉仕の三大運動を中心に先輩たちの活動を基礎に成長してきたが、今後さらに会員の拡大を図り地域社会に貢献するクラブづくりに努力していきたい」と抱負を込めあいさつがありました。

その後結婚六十年を迎えたダイヤモンド婚式者(前山戸沢類治・スエさん夫妻など三十六組)の表彰、長谷川真一郎さんほか九人を歴代会長及び功労者として表彰し功績をたたえた後、岩川町長の記念講演、午後からは芸能発表などで交流を深めました。



脳卒中「歩みの会」が十五周年

―社会復帰めざし活発な活動―

さる十一月十七日、鷹巣町脳卒中「歩みの会」（児玉勝治会長）が結成十五周年記念大会を開催しました。脳卒中の障害をかかえ町のリハビリ学級で社会復帰をめざしてがんばっている人たちが昭和五十四年に組織化したのがはじまりで、会員が五十人以上となった現在では毎月の例会のほかリハビリ訓練、家庭での創作活動、機関誌の発行、最近では共同作業所で木工品を製作するなど活発な活動を展開しています。記念大会では功労者の表彰、三人の会員の体験発表、昼食後は県女性政策懇話会委員の木ノ内むね子さんによる「障害を乗り越えて生きがいを築くために」と題した講演会が行われました。



「県の名工」に芹田昭一さん

―建具製造の道一筋に四十七年―

このほど県職業能力開発促進大会が秋田市の県児童会館で開かれ、芹田昭一さん（舟見町・六十一歳）が鷹巣阿仁地区ではただ一人優良技能者「県の名工」として表彰されました。芹田さんは建具製造工として四十七年にわたり技術を磨き、これまでも全国建具展示会などで数々の上位入賞を果たし、県内の建具展示会では十年間「価格審査委員」を務めるなど活躍してこられました。「本当は辞退を申し入れようと思いましたが、私が受賞したのは、これまで世話してくださった人々のおかげです」と語る芹田さん、「これからも注文の品をきちんと仕上げ、周囲にマッチした建具をつくって行きたい」と語っていました。



鷹中女子2年連続6度目の優勝

―第11回県女子駅伝兼秋田内陸縦貫駅伝―

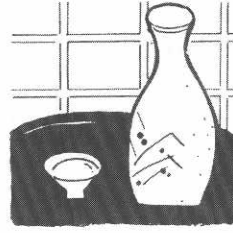
第十一回秋田県女子駅伝兼秋田内陸縦貫駅伝競走大会が十一月七日に行われ、女子の部（森吉町役場前スタート、鷹巣までの五区間十八・二キロ）では、先の東北中学駅伝で三位に入り十二月二十七日能本県で開かれる全国大会に出場する鷹巣中が一区から独走し、二位に三分以上の大差をついて二年連続六度目の優勝を飾りました。

また、今回から新設されたマスターズ（四十歳以上）の部では綴子走友会Aチームが準優勝を果たしました。結果は次のとおりです。

▽男子の部 ①秋田LSDクラブ 1時間54分20秒 ④綴子走友会 2・02・44 ⑤沢口走友会 2・07・48

▽女子の部 ①鷹巣中 1・09・22 ④鷹巣南中 1・18・18 ⑤ ②マスターズ ①秋田市仁井田陸友会 A 1・02・59 ②綴子走友会 1・05・46 ④坊沢走友会 1・09・39





健康広場

福祉保健課からのお知らせ



保健婦からのメッセーヅ

お酒との上手なつきあい方

アルコールは昔から「百薬の長」といわれてきましたが近年のアルコール消費量の増大に伴い、肝硬変やアルコール依存症の増加が懸念されています。

アルコールと上手につきあうために次のような点を心がけましょう。

Ⅱ心と体によい飲み方Ⅱ

一、楽しく飲もう。

二、ゆっくり飲もう。

アルコールの分解速度は個人差が大きいのでマイペースでゆつくりと。

三、食べながら飲もう。

食べながら飲むことは胃壁の保護からも、栄養のバランスの点から大切です。

四、自分の適量にとどめよう。

多くても日本酒なら一合、ビールなら大瓶で一合

本、ウイスキーならダブル一〜二杯以内に。

五、週に二日は「休肝日」

六、人に酒の無理強いはやめよう。

七、薬と一緒に飲まない。

睡眠薬、降圧剤、糖尿病薬などは、その作用が増強され別作用を引き起こすことがあります。

八、強いアルコール飲料はうすめて飲もう。

強いアルコール飲料は、肝臓・すい臓の大敵。また、口腔ガン、食道ガンの発生が多くなることも知られています。

九、肝臓などの定期検査を受けよう。

年に一回は肝機能検査を。

十、「丈夫で長持ち」を心掛けて楽しもう。

平成六年度

入園希望者を募集します

〔12月1日〜12月22日〕

保育園

町立幼稚園

▽申込先Ⅱ福祉保健課福祉係または各保育園（申請書はいずれにもありますので、必要な書類を添え提出してください）

▽募集人員

（一）内は三歳未満児

○鷹巣保育園Ⅱ90人（36）

○南鷹巣保育園Ⅱ120人（40）

○七日市保育園Ⅱ60人（12）

○綴子保育園Ⅱ60人（12）

○中央保育園Ⅱ90人（30）

○東保育園Ⅱ60人（11）

○竜森保育園Ⅱ30人（三歳児以上に限る）

▽入園通知Ⅱ二月上旬に面接を行い、二月下旬までに可否を通知します。

▽問い合わせⅡ福祉保健課

福祉係（内線二三六・二二七）

▽申込先Ⅱ各幼稚園（入園願書は教育委員会及び各幼稚園にあります）

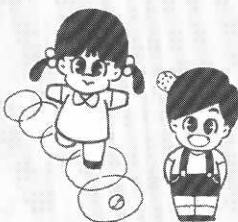
▽募集人員Ⅱ北幼稚園、西幼稚園ともに40人（平成元年4月2日から平成2年4月1日生まれまで）

▽募集地域Ⅱ北幼稚園は綴子地区一円、西幼稚園は坊沢・七座地区一円

▽入園通知Ⅱ二月下旬までに可否を通知します。

▽問い合わせⅡ教育委員会

学校教育係（内線四二三）





はしか予防接種 券の交付と日程

▽接種券交付日

○十二月七日（火）

午前九時～午後二時

中央公民館保健相談室にて
交付します。

▽接種日程

○十二月十四日（火）

奈良医院

○十二月十五日（水）

藤原医院

○十二月十六日（木）

北秋中央病院

○十二月十七日（金）

としま医院

▽対象者

十二月十四日現在で生後十二
ヵ月～三十六ヵ月の幼児

（事情によりその期間内に接
種できなかったお子さんは七
十二ヵ月まで受けられます）

▽持参するもの

母子健康手帳



福祉メモ

今回は老人訪問看護ステーションにつ
いてお知らせします。

鷹巣町老人訪問看護ステーションは、本
年八月一日に開設されました。ステーショ
ンには専門のスタッフ（看護婦三名・保健
婦二名）が勤務し、主治医の指示書に基
づき直接自宅を訪問してサービスを提
供しています。

行っているサービスの内容は、体の清
潔（洗髪・入浴）、排尿や排便のお世話
床ずれの予防や手当、胃チューブ・尿管
の管理、リハビリ、住みやすい環境づく
り（補助器具の紹介・住居の改善）など
です。

訪問看護の対象は六十五歳以上の老
人医療受給者で、寝たきりか将来寝たき
りになるおそれのあるお年寄り、また痴
呆のあるお年寄りなどです。また、訪問
看護の利用料は、三十分から二時間まで
一回につき二五〇円で物品（ガーゼや消
毒液など）の代金になります。二時間を
超えると利用料は一時間につき一、一〇
〇円加算されます。

利用の申し込みは、直接老人訪問看護ス
テーションか、主治医の先生にご相談くだ
さい。利用時間は月曜日から金曜日までは

老人訪問看護ステーション

④

午前九時から午後四時まで、第一・第三土
曜日は午前九時から午前十一時半までで
す。

老人訪問看護ステーションは開設され
たばかりですが、関係者の協力を得ながら
生じてくる問題を解決して、一つ一つの
ケースを大切にしながら活動していま
す。五人のスタッフは一人でも多くの方
が住み慣れた場所での人らしく安楽
な生活ができるようにお手伝いしたい
と思っています。

在宅介護で悩んだり困っている方、こ
れから退院をむかえ不安や心配のある
方は、ぜひ遠慮なくご相談ください。

次回は実際に利用されている方の声
をお届けします。

ー鷹巣町福祉のまちづくりワーキング
グループ（福祉行政サービス）ー



12月の健康ごよみ

■ 6日(月) 20日(月)

○母子健康手帳交付と

第1回妊婦教室

受付—午後1時～1時20分

(妊婦教室終了は3時)

場所—中央公民館保健相談室

持参—印かん

■ 8日(水) 22日(水)

○健康相談と健康教室

場所—中央公民館保健相談室

時間—午前10時～12時

午後1時～3時

内容—お酒と肝臓

■ 14日(火)

○1歳6カ月児健康診査

対象—平成4年4月～5月生まれ

受付—午後1時～1時15分

場所—中央公民館ホール

持参—母子健康手帳、問診票

バスタオル

○フッ素イオン導入

対象—3歳児以上

時間—午後1時30分～3時

場所—中央公民館保健相談室

持参—母子健康手帳、タオル

■ 14日(火)～17日(金)

○はしか予防接種

対象—生後12～36カ月のお子さん

◇希望者は12～72カ月まで受ける
ことができます。

■ 20日(月)

○第3回妊婦教室

場所—中央公民館保健相談室

時間—午前10時～12時

内容—家族計画について

■ 22日(水)

○4カ月児健康診査

対象—平成5年8月生まれ

受付—午後1時～1時15分

場所—中央公民館ホール

持参—母子健康手帳、バスタオル

○7カ月児健康相談

対象—平成5年5月生まれ

受付—午前9時30分～9時45分

場所—中央公民館ホール

持参—母子健康手帳、バスタオル



虫歯
なし



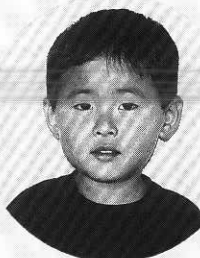
あけぼの町

きのした しおりちゃん



東横町

おがさわら りこちゃん



綴子上町

たかはし ひかるちゃん



大町

いとう しゅんちゃん

夜間当番医(夜間診療) 日程表

(午後6時30分～9時)

。 応急の診療を要する患者。
。 往診はしておりません。
。 仕事や職場の都合で夜間
診療を受ける場合は、診

。 療に応じかねます。
。 ※年齢・病気の症状にか
。 わらず当番医に電話等
。 ご相談ください。

12月	曜日	医 療 機 関 名	電話番号
1	水	盛岡外科医院	62-1101
2	木	戸嶋産婦人科医院	62-1123
3	金	としま医院	62-1267
4	土	奈良医院	62-1146
5	日	北秋中央病院	62-1455
6	月	鷹巣病院	62-1210
7	火	藤原医院	62-2882
8	水	佐藤外科消化器科医院	62-1420
9	木	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
10	金	北秋中央病院	62-1455
11	土	佐々木産婦人科医院	63-0105
12	日	盛岡外科医院	62-1101
13	月	としま医院	62-1267
14	火	戸嶋産婦人科医院	62-1123
15	水	近藤医院	62-1155

暮らしの情報

INFORMATION



年末年始の犯罪と事故防止
(12月1日～1月中旬)

行政相談

今日は18日

行政についての不満や要望
がありましたら、どんな些細
なことでも遠慮なく申し出て
ください。

▽日時 十二月八日(水)

午前10時～午後3時

▽場所 中央公民館

▽行政相談委員 近藤 栄一

鷹巣町材木町六一三〇

☎六二二二二一〇

※相談は無料で秘密は固く守
られます。

内陸線

ダイヤ改正

秋田内陸縦貫鉄道では、十
二月一日(水)よりダイヤ改
正を行います。

[主な改正点]

一、東京圏から内陸沿線への
所要時間の短縮
東京から「やまびこ5号」
に乗り、「たざわ19号」角
館乗継「もりよし4号」で鷹
巣到着が六時間九分要してい
ましたが、改正では五時間四
十三分と二十六分の短縮にな
りました。

二、JR奥羽本線及び田沢湖
線の接続改善
鷹巣駅、「たざわ11号」か
ら五分の接続時間が確保され
ました。

角館駅、朝の上り普通列車
から接続を確保しています。

三、秋田内陸線内、阿仁合駅

における停車時間の短縮

列車により異なりますが、

十分～三十七分と停車時間が

短縮されました。

四、内陸線内の接続列車

の改善

角館十九時四十四分発阿仁

合行の列車から鷹巣方面の接

続列車はありませんでしたが、

角館十九時二十分発とし阿仁

合二十一時九分発の鷹巣行の

列車に接続することにしまし

た。

五、列車の廃止

阿仁合十九時三十分発鷹巣

問い合わせは

ハローワーク たかのす
(大館公共職業安定所鷹巣出張所)

TEL 0186-62-1240

ハローワーク求人情報

【男子】

職 種	年 齢	基本給 (万円)	資 格 免 許	業 種	就業場所
試験係	18歳～ 35歳	11～18.5	普通免許	生コンクリート 製造販売業	合川町
理容業 (見習可)	不問	11～25	理容師免許	理容業	鷹巣町
運転手	不問	15～20	普通免許	集配業務	鷹巣町
セーラー ズドライバー	18歳～ 30歳	11.25～ 13.75	普通免許	小荷物の集配業務	鷹巣町
酸素切断 作業員	不問	17.5～20	—	鉄鋼資材加工業	鷹巣町
フライス オペレーター	18歳～ 40歳	11.5～ 14.7	—	工業用特殊鋼、非 鉄金属加工販売業	鷹巣町
鉄骨加工	18歳～ 50歳	13～21	普通免許	鉄骨橋梁加工、各 種部品、工具販売	鷹巣町
木材加工員	18歳～ 50歳	10.3～16	—	ピアノの部材加工 木製品の製造	森吉町
土木	18歳～ 55歳	13.75～ 16.25	—	建設業 (土木工事等)	鷹巣町
機械結束工及びバ ーカー機械の操作	25歳～ 60歳	14.4～ 19.2	—	一般製材業	鷹巣町

【女子】

職 種	年 齢	基本給 (万円)	資 格 免 許	業 種	就業場所
看護婦	20歳～ 35歳	14.5～16	正看護又は 准看護	医院(外科、内科、 胃腸科、他)	合川町
正看護婦・准看護 婦・助産婦パート	不問	時給 900	各職種の 免許	産婦人科医院	鷹巣町
事務	18歳～ 30歳	9～12	普通免許	自動車整備及び タイヤ販売	鷹巣町
販売員 (パート)	18歳～ 55歳	時給 550～880	—	総合食品小売業	合川町
理容業 (見習可)	不問	11～25	理容師免許	理容業	鷹巣町
調理助手 (パート)	18歳～	時給 550	—	ホテル及び 総合飲食	鷹巣町
食肉処理 (パート)	20歳～ 40歳	時給 630	—	食肉加工	鷹巣町
技能職 (パート)	45歳以下	時給 600	—	電線加工業	森吉町
木材加工員	18歳～ 50歳	10.3～16	—	ピアノの部材加工 木製品の製造	森吉町
結束及び仕訳	25歳～ 50歳	12～13.2	—	一般製材	鷹巣町



二十時二十九分着列車、鷹巣
二十時三十七分発阿仁合二十
一時三十四分着列車が廃止さ
れました。

放送大学

学生募集

放送大学「青森ビデオ学習
センター」では、次の要領で
平成六年度第一学期入学の学
生を募集しています。

▽出願期間

十二月十五日(水)～

平成六年二月十五日(火)

▽入学資格

十八歳以上であれば、一般
社会人・主婦を問わずどなた
でも入学できます。

(入学試験はありません)

▽募集学生

■選科履修生

一年間在学し、自分の希望
する科目を履修します。

■科目履修生

六カ月(一学期)在学し、
自分の希望する科目を履修し
ます。

▽入学料

選科履修生

五千円

科目履修生

三千円

▽授業料

一科目(二単位)につき

八千円

▽授業開始日

平成六年四月三日(日)

※お問い合わせ・募集要領等
請求は、放送大学「青森ビデ
オ学習センター」へ。

〒〇三六 弘前市本町二二六

一(弘前大学本町地区内)

☎〇一七二一三八一〇五〇〇

私のまち写真

コンテスト

▽テーマ

年末あい 運動

12月1日～31日

『地域でささえあう
あったかいお正月』



まちの表情やまちを舞台と
した人々の活動

▽応募上の注意

○一人何点でも応募可

○作品の裏には、題名・撮影
場所(国内に限る)・撮影年
月日・作品の意図(必要な場
合)・氏名・年齢・性別・住
所・電話番号・職業(学生の
場合は学校名と学年)を必ず
明記してください。

○作品は未発表または他に応
募していない作品に限ります。

○サイズは白黒、カラープリ
ント(スライド・組写真を除

く)で、キャビネ以上から四
ツ切りまでとします。

▽送付先

〒一一三 東京都文京区本

郷二丁目十七番十三号

社団法人 日本交通計画協

会内「私のまち写真コンテス

ト」事務局

☎〇三三三八一六一七九一

▽締め切り

平成六年一月十五日

▽発表

(当日消印有効)

平成六年六月

'93ファルコン自主公演事業

⑨ 音楽の 冗談コンサート

12月10日(金) たかのす風土館

開場/18:00 開演/18:30

全席自由 一般1,500円/小・中・高校生800円

〈唄とトーク〉



新井 純



斎藤 晴彦

〈ピアノ〉

住友 邦治

- 主 催 ■ 鷹巣町教育委員会
■ 後 援 ■ 鷹巣町芸術文化協会
■ プレイガイド ■

中央公民館 (☎ 62-1130)

たかのす風土館 (☎ 62-3311)

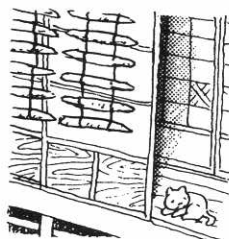
電器プラザササキ (☎ 63-0311)

タカハシ楽器 (☎ 63-1670)

その他町内の書店などでも扱っています。

ファルコン

～お問い合わせは、たかのす風土館へ～



香典返し

このほど次の方々から、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽秋田市 伊藤マツさんから

亡兄 総一郎さんの香典返し

▽大野尻 津谷慶一さんから

亡母 ミサさんの香典返し

▽花園町 松橋むつ子さんから

亡夫 正俊さんの香典返し



慶弔だより

11月1日～15日

誕生おめでとう

じやいます

高橋久美子 (順リタロー) 長女 伊勢町

▽新田中 戸澤剛さんから
亡父 勇雄さんの香典返し
▽元町 村上信夫さんから
亡三男 優さんの香典返し

三浦 茉莉 (美千代) 二女 南鷹巣	佐藤 円香 (正子) 長女 四渡	山内 慶幸 (真幸) 弓雄 長男 向黒沢	齋藤 裕紀 (久信) 美昭 二男 あけぼの町	桜庭 明人 (セメル) 七メルク 長男 蟹沢	畠山 義也 (かよ子) 義 長男 あけぼの町	村上 大介 (千常) 春博 長男 宮前町	桜庭 健有 (勉) 長男 南鷹巣
--------------------	------------------	----------------------	------------------------	------------------------	------------------------	----------------------	------------------



二人の前途を
祝福いたします

戸澤 淳子 前山	吉田 朋子 米代町	玉造 正晴 妹尾館	佐藤 静子 田代町	小塚 省務 舟場	七尾 正身 二ツ井町
----------	-----------	-----------	-----------	----------	------------

おくやみ申し上げます

笹代 イト (84歳) 葛黒	津谷 セキ (88歳) 坊沢相澤町	戸澤 スエ (78歳) 前山	高坂 豊太 (86歳) 坊沢羽立	藤本 タミエ (75歳) 旭町	簾内 忠一郎 (88歳) 今泉	佐藤 陽子 (47歳) 大堤	正田 リサ (70歳) 元町	佐藤 喜平 (71歳) 脇神	鈴木 克三 (71歳) 材木町
----------------	-------------------	----------------	------------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------

固定資産税4期
納期限は
12月27日です

第11回

鷹巣町公民館まつりと

12/5(日)

9:00~17:30

生涯学習交流会

生涯学習時代を迎え「何かを学んでみたい」という皆さんのために、町では公民館講座やさまざまな地域活動などを通じて多くの学習の場を設けています。

生きがいを求め郷土を愛する心を育みながら楽しく交流してみませんか……。

どなたでも、お気軽にご参加ください！



(今年の公民館まつりでの活動発表から)



広報たかのす

12月1日号 (No.757)

編集・発行

鷹巣町役場地域政策課広報広聴係
秋田県北秋田郡鷹巣町花園19番1号
TEL 0186-62-1111 FAX 0186-63-2586

■日時/12月5日(日) 9:00~17:30

■会場/鷹巣町中央公民館

■主催/鷹巣町生涯学習推進本部・鷹巣町教育委員会・鷹巣町中央公民館・各地区公民館

■参加対象/講座受講者をはじめどなたでもお気軽にご参加ください

■テーマ/「地域づくりと生涯学習」

■内容

・パネルディスカッション

テーマ/『心かようあなたの笑顔 いまボランティア』

提言者/宮腰光雄(七日市公民館長)▷吉田忠(株)秋田銀行鷹巣支店長▷三沢礼子(講座受講生)▷佐藤智美(鷹巣高校2年生)▷リアン・ブラッドショー(鷹巣町国際交流員)

司会者▷渡辺一夫(町派遣社会教育主事)

・記念講演

演題/『自分を生かし、地域を活かす』

講師/財はまぎん産業文化振興財団
理事・事務局長 中村實氏

・わたしの生涯学習

発表/成田循子(「学習をとおして」)/鈴木カーロタ(「I LOVE たかのす」)

演示/母と子のわくわく広場、たのしい英会話、太極拳、合唱

展示/パッチワークほか各種講座作品及び記録写真

■交流会

手づくり屋台、三味線の演奏と舞踊など

■参加費等(希望者のみ)

昼食/500円 交流会/1,000円(当日受付へ納付)

■参加申し込み

12月2日(木)まで中央公民館(☎62-1130)へお申し込みください。